

年末・年始の中・北部の断面交通量は昨年度比で微増 南部はバイパス整備の効果により断面交通量が増加

〔モノレールの平均利用者数は10%増加
E T C利用率は昨年12月比で10%UP〕

- ・県内直轄国道と沖縄自動車道の年末・年始（平成18年12月28日～平成19年1月3日）の1週間の交通量について調査をしましたので報告します。
平成17年12月28日～平成18年1月3日間の平均日交通量と、平成18年12月28日～平成19年1月3日間の平均日交通量で比較しました。
- < 恩納村～宜野座村の北部、別添A断面において >
 - ・昨年度と比べ国道58号は8%増加、国道329号は3%増加、沖縄自動車道は3%増加しており、A断面合計で5%増加しています。
- < 宜野湾市～中城村、別添B断面において >
 - ・昨年度と比べ国道58号は1%増加、国道329号は4%減少、沖縄自動車道は3%増加しており、B断面合計で、ほぼ横ばいです。
- < 豊見城市、別添C断面において >
 - ・沖縄西海岸道路豊見城道路が平成18年2月に部分暫定供用したことにより、国道331号現道部の交通量が豊見城道路に転換され、国道331号現道部の交通量が昨年度と比べ10%減少しています。ただし、断面交通量としては62%増加しています。
- < その他 >
 - ・モノレールの平均日利用者数（実車ベース）は、昨年度同時期と比べ10%増加しています。
 - ・ETC利用率について、平成17年12月の平均日利用率20.0%に対し、平成18年12月の平均日利用率29.3%（速報値）と、約10%UPしています。

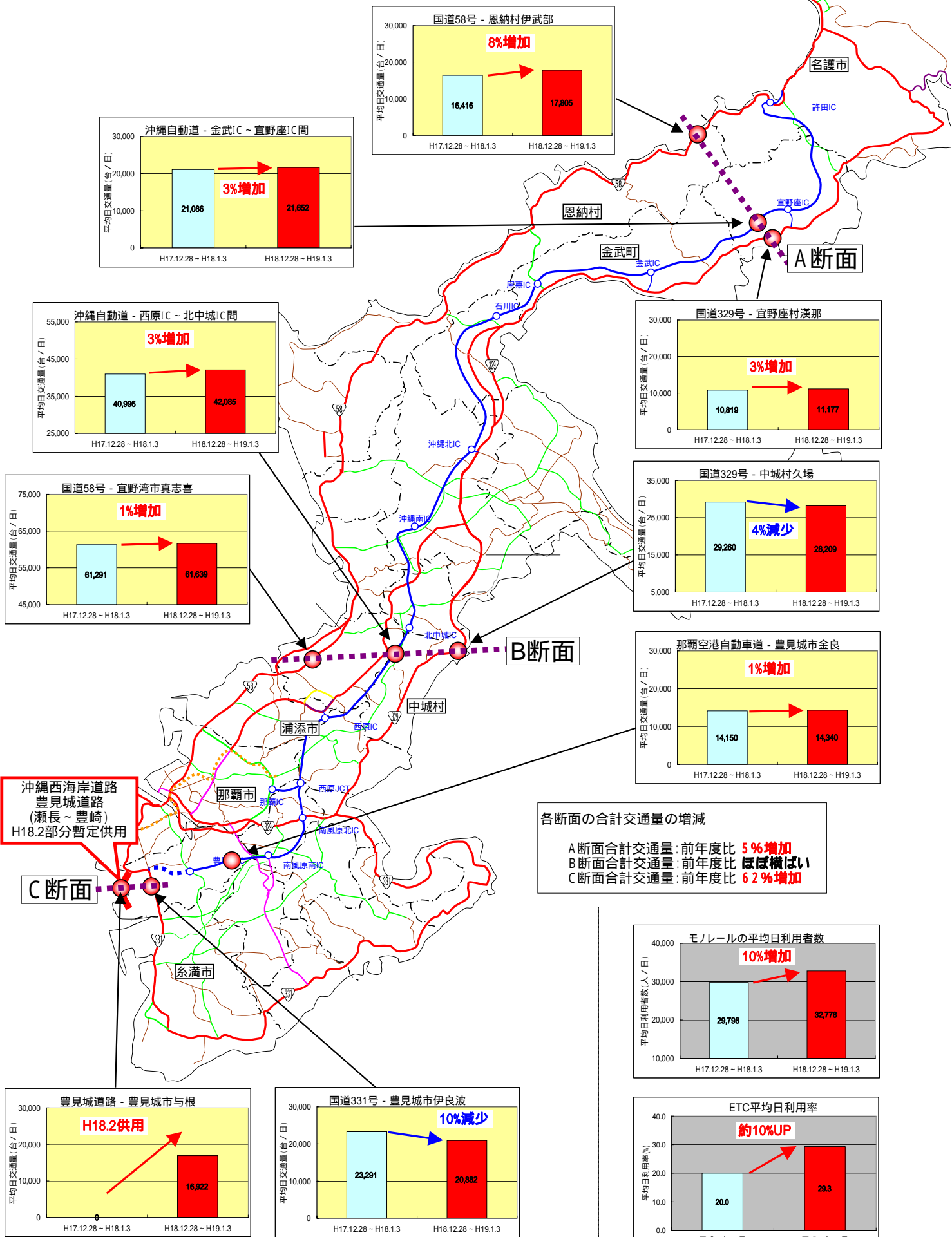
平成19年1月12日

問い合わせ先：沖縄総合事務局開発建設部道路建設課

課長 田中 衛
道路計画調整官 喜舎場 正秀

電話 098-866-0091（直通）

年末・年始(12月28日～1月3日)の交通量等について (対平成17年度の日交通量との比較)



沖縄西海岸道路
豊見城道路
(瀬長～豊崎)
H18.2部分暫定供用

